

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	畑山 理馨子 先生 (打楽器の達人)
実施校	瀬戸市立陶原小学校
実施日	平成20年10月24日(金曜日)
実施学級	2年 赤・白・青組(97人)
授業の実際	<p>1 達人の紹介。「中部フィルハーモニー交響楽団」(写真を見せて)</p> <p>2 歓迎の歌「いるかはざんぶらこ」を歌う。(手拍子を入れて) 2番からは達人のパーカッション入りで、とても楽しい雰囲気になる。</p> <p>3 いろいろな打楽器の演奏を聴く。(よく聞くあの音) 楽曲の中にある打楽器を実際に演奏してもらう。ギロ、ウッドブロック、トライアングル、珍しいタイプライターも演奏していただいた。 紙やすりが楽器になる。曲にあわせて紙やすりを「シュッシュッ」とすると、不思議な音が音楽にマッチした。</p> <p>4 ボディーパーカッションでリズムを感じる。 「さんぼ」にあわせて、手拍子やひざ足踏みで楽しんだ。</p> <p>5 達人の演奏を聞く。 小太鼓の迫力ある演奏を聞く。</p>
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙やすりが楽器に使われるなんて知らなかった。 ・ 最後の小太鼓の時、音が大きくてびっくりした。とても上手だった。 ・ ティンパニーとかの演奏も聴いてみたいと思った。 ・ 「いるかはざんぶらこ」を歌っているとき、途中から打楽器のリズムを入れてくれたら、とても楽しかった。
教師の感想	<p>・ とても楽しい時間を過ごせました。意外なものが打楽器になるなど、いろいろな工夫をしていただきました。最後の小太鼓の演奏がもっとも子どもたちにインパクトがありました。本物のすごさを見せる場面を多く取り入れることで、子どもたちの感性に響くと思います。</p>



